

時間生成学領域会議等における A01 班の活動

時間生成学キックオフシンポジウム

2018年9月24日

東京大学弥生講堂一条ホール

スピーカー

嶋田珠巳 (明海大学), 小林一郎 (お茶の水大学), 北澤茂 (大阪大学), 田中真樹 (北海道大学), 平田聡 (京都大学), 池谷祐二 (東京大学)

特別討論: 人工神経回路は「こころの時間」を生み出せるのか?

話題提供者

岡ノ谷一夫 (東京大学), 橋田浩一 (東京大学), 青山拓央 (京都大学)

2018年度領域会議

2019年2月2日・3日 (松山市)

各計画班の研究紹介

A01 班 時を作る: 言語による時間生成

B01 班 時が流れる: 時の流れの神経基盤

C01 班 時を刻む: 知覚や行動に伴う心的時間の脳内機構とその操作

D01 班 時を獲得する: 時間の獲得の個体発生と系統発生

E01 班 時を失う: 時間の処理およびその情動的価値の生成と崩壊

特別講演

「音声認識の方法論の変遷～時系列写像学習の観点から～」

河原達也 (京都大学情報学研究科教授)

ポスター発表 (A01 班のもののみ記載)

小西光, 浅原正幸 「『現代日本語書き言葉均衡コーパス』に対する時間情報アノテーション」

加藤祥, 小西光, 浅原正幸 「『現代日本語書き言葉均衡コーパス』に対する時間情報表現・
事象表現間の時間的順序関係アノテーション」

小林一郎 「人工知能手法を用いた脳内報処理機構解明への取り組み」

Fei Cheng. Recurrent neural network with efficient attention for classifying temporal
relation

鍛冶広真 「ツングース語のテンスとアスペクト」

2019 年度第 1 回領域会議

2019 年度 8 月 20 日・21 日（札幌市）

A01 計画班および公募班研究報告

嶋田珠巳, 青山拓央, 浅原正幸, 小林一郎「言語による時間生成」

有田節子「空間認知からの時間生成」

程飛 Exploring deep neural network for temporal information extraction

ポスター発表

佐々木文彦「時間を表す語義の変遷——「あした・あす」を中心に——」

鍛冶広真, 嶋田珠巳「時間の範疇化——語彙の対照研究——」

耿シンセイ, 程飛, 小林一郎, 浅原正幸「時間を識別する人工神経回路網開発への取り組み」

松本理美「朗読におけるポーズと節境界について」

2019 年度第 2 回領域会議

2020 年 2 月 1 日・2 日（豊中市）

A01 計画班研究報告

青山拓央「エピソード記憶を再考する」

浅原正幸「BERT による文脈化単語埋め込みに基づく意味空間」

小林一郎「時間を識別する人工神経回路網構築への取り組み」

ポスター発表

佐々木文彦, 嶋田珠巳, 鍛冶広真「「あした・ゆうべ」の語義の変遷——時間語彙の類型論に向けて」

Fei Cheng, Masayuki Asahara, Ichiro Kobayashi, Sadao Kurohashi. Jointly global entity representation updating and multi-task transfer learning for classifying temporal relations

西内沙恵「空間から時間への派生のメカニズム——長い夜を超えられるか？ 夜明けは遠いかもしれない——」

森山奈々美, 荻原亜彩美「クラウドソーシングによる事象の時間幅判定調査」

耿シンセイ, 黒田慧莉, Fei Cheng, Lis Weiji Kanashiro Pereira, 浅原正幸, 小林一郎
「SDP-based BiLSTM を用いた日本語の時間関係の識別」

黒田慧莉, 小林一郎「ヒト脳内での予測を対象とする深層生成学習モデル構築への取り組み」

大越峻矢「ムードの「た」の過去性」

2020 年度第 1 回領域会議

2020 年 9 月 4 日 (オンライン)

A01 計画班および公募班研究報告

小林一郎「日本語時間識別深層学習モデル構築」

Lis Kanashiro Pereira. Adversarial training for commonsense inference

浅原正幸「BERT による文脈化単語埋め込みに基づく意味空間」

Fei Cheng. A dynamic event model with multi-category learning for temporal relation classification

嶋田珠巳「[時間と言語]に関する基礎的考察」

青山拓央「エピソード記憶と言語」

2020 年度第 2 回領域会議

2021 年 1 月 30 日 (オンライン)

公募班研究成果発表

有田節子 (立命館大学)「空間認知からの時間生成 (2)」

程飛 (京都大学)

ポスター発表

中村ちどり「時制演算子のスコープと過去・未来の非対称性」

木村麻友子「時間的常識を理解する言語モデルの構築へ向けて」

須藤百香「文章内の時間関係を捉える脳内メカニズム解明への取り組み」

越智綾子「日本語の論理的時間について——選択体系機能文法の観点から——」

Fei Cheng. Extracting temporal information in movies by using BERT-based neural models

徐敏徹「過去と未来の概念化に用いられるジェスチャーの方向性に関して：東洋と西洋の文化の観点から」

2021 年度第 1 回領域会議

2021 年 4 月 17 日 (オンライン)

A01 計画班および公募班研究報告

嶋田珠巳, 青山拓央, 浅原正幸, 小林一郎「言語による時間生成」

程飛 Temporal knowledge supervision for pre-training transfer learning models

2021 年度第 2 回領域会議

2022 年 2 月 12 日・13 日（オンライン）

ポスター発表

嶋田珠巳, 鍛冶広真, Joseph Tabolt, 吉本啓「談話における時間の流れ——1Q84 冒頭部分の日英露アノテーションからの考察」

鍛冶広真「ロシア語テキストにおける過去を表す形式と用法：日本語との対照」

Joseph Tabolt「未来の能力とは——英語の can/be able to と日本語の rar (eru) の未来解釈の文脈条件の比較」

吉本啓, Joseph Tabolt, 鍛冶広真, 嶋田珠巳「参照時によるテキストの時間的意味の関係づけ」

浅原正幸, 西内沙恵, 越智綾子, 荻原亜彩美「テキスト・音声・動画に対する時間情報アノテーション」

Lis Kanashiro Pereira. Adversarial training for robust and effective temporal reasoning
上原泉, 浅原正幸, 酒井裕, 川崎采香, 小林一郎, 谷口巴「トピックモデルを用いた年代別作文の時間に関する認識の分析」

Lis Kanashiro Pereira, 浅原正幸, Fei Cheng, 越智綾子, 小林一郎, 木村麻友子「時間的常識理解へ向けた効果的なマスク言語モデルの検証」

Lis Kanashiro Pereira, 浅原正幸, Fei Cheng, 越智綾子, 小林一郎, 須藤百香「DVD 鑑賞刺激下の脳活動における時間認識状態の推定」

Cheng Fei. Leveraging intermediate pre-training to improve Japanese temporal relation extraction

International Symposium on Chronogenesis: How the Mind Generates Time

2022 年 11 月 23・24 日（名護市）

Session 1: (A01) Linguistic Chronogenesis

Chair: Tamami Shimada, Joseph Tabolt (Meikai Univ)

Rafael Núñez (University of California, San Diego). The conceptualization of (everyday) time

Tamami Shimada (Meikai Univ). Temporal structure in discourse

Ichiro Kobayashi (Ochanomizu Univ). Estimation of temporal recognition state in the brain using a deep neural network that recognizes temporal events in natural language sentences

Lis Weiji Kanashiro Pereira (Ochanomizu Univ). Adversarial training for robust

temporal reasoning in natural language processing
Discussion (Chair: Masayuki Asahara, NINJAL)

Poster session

Masayuki Asahara, Ayako Ochi, Ayaka Suzuki. Temporal information annotation on language resources

Joseph Tabolt. Carving intervals: Japanese 'made' and English 'until'

Kaji Hiromi. Present tense and temporal perspective: A contrastive study of Japanese and Russian

Mayuko Kimura Lis Kanashiro Pereira, Masayuki Asahara, Fei Cheng, Ayako Ochi, Ichiro Kobayashi. Toward building a language model for understanding temporal commonsense

Momoka Sudo Lis Kanashiro Pereira, Masayuki Asahara, Fei Cheng, Ayako Ochi, Ichiro Kobayashi. A Study on estimating the brain state recognizing temporal relationships

Hikari Funabiki, Lis Kanashiro Pereira, Masayuki Asahara, Fei Cheng, Ayako Ochi, Ichiro Kobayashi. Toward the construction of a general-purpose language model for recognizing temporal common sense in Japanese

Ying Luo, Ichiro Kobayashi. BrainBERT: Estimation of brain activity evoked linguistic stimuli utilizing the general-purpose language model

Lis Kanashiro Pereira. Attention-focused adversarial training for robust temporal reasoning

Fei Cheng. Semi-supervised event duration reasoning

2022 年度領域会議

3月5日・6日（広島市）

A01 計画班および公募班研究報告

浅原正幸「テキストの読み時間と過去・現在・未来」

Fei Cheng. Automatically acquiring the habituality of event duration and sharing a perspective on large language models like ChatGPT

ポスター発表

鍛冶広真, Tabolt Joseph Robert, 嶋田珠巳「談話における時間の流れと時間的参照構造の図式化：日本語・英語・ロシア語における事象の時間を表す言語表現」

羅桜. Towards the construction of a generic language model for brain state estimation
須藤百香, 小出(間島)直子, 浅原正幸, 山口裕人, 久保理恵子, 西本伸志, 小林一郎「ヒ
ト脳における時間認識時の脳内状態の推定」
船曳日佳里, 木村麻友子, Lis Kanashiro Pereira, 浅原正幸, 越智綾子, Fei Cheng, 小林
一郎「マルチタスク学習を用いた時間を認識する汎用言語モデルの構築」
越智綾子「日本語の時制の文法システム～選択体系機能言語学の観点から～」
Lis Kanashiro Pereira, Fei Cheng, Masayuki Asahara, Ichiro Kobayashi. Domain-adapted
language model for Japanese temporal reasoning
Tabolt Joseph Robert, 鍛治広真, 嶋田珠巳「談話における時間の流れを捉える時間的参
照理論：r-in-R」
佐々木文彦, 嶋田珠巳「アシタ・ユウベのダイクシス性の獲得」